



59冊の図書寄贈



町内で庭や外構工事を手がけるトーホテック株式会社より、「地域へのささやかな恩返しです。」と児童図書が寄贈されました。

図書は「まほうのどんぐり」、「きつね小僧」など絵本をはじめ人気のある59冊で、巡回図書として各小学校を巡った後、西当別コミュニティセンター図書室で閲覧、貸し出しができます。

(5月12日)

火の用心！！



当別消防署では春の全道火災予防運動（4月20日～30日）に伴い、消防職員と女性消防団員が町内の一人暮らしの高齢者宅の火災を防ごうと戸別訪問し、防火指導を実施しました。

毎年春と秋に行われているこの活動ですが、今回は約240世帯を訪問しました。

女性消防団員は手作りによる防火マスコットを手渡ししながら、住宅に潜んでいる火災の危険性を説明し、火気使用時の注意、住宅用火災警報器の設置等呼びかけました。

(4月20日)

お寺でコンサート



音楽でまちを元気にしようと、全久寺未来アカデミーが主催するスプリングコンサートが開催され、250名の来場者が、感動と元気をもらいました。

演奏者は道内179の全市町村を公演中のグループ「ジュンコ&チープ」で、全久寺の白井応隆住職らの呼び掛けで実現しました。

ステージでは「上を向いて歩こう」ほか幅広いジャンルの17曲が演奏されましたが、当別小学校児童4名と、スタッフが「みちくさ合唱団」として飛入りで演奏に参加し、会場を盛り上げました。

(4月23日)

広 告

みんな仲良く



弁華別小学校（高森幸代校長、全校児童16人）で人権教室が開催されました。

「一人ひとりが幸せに生きるために思いやりの気持ちを育てよう」と町内の人権擁護委員の方々が企画し、今回、初めて授業に取り入れられました。

いじめの問題や、思いやりのあるコミュニケーションのとり方について指人形や紙芝居を使って考えました。途中で大きなマスコットも登場、「みんなで仲良くしようね」と全児童と握手を交わしていました。

(5月12日)

交通事故のない社会へ



交通事故死ゼロを目指し、5月11日から20日まで行われている春の全国交通安全運動の一環として、当別大通でセーフティコールが行われました。

北海道警察や町内の企業、町内会、老人クラブなど各団体から約200名が参加し、「みんなで守ろう交通ルール」と記された黄色いたすきを掛けながら、交通安全を訴える手旗やのぼりをふっていました。

また、会場では西保育所の園児たちが、北海道警察の白バイに乗せてもらう姿も見られました。

(5月18日)



広 告